

目標	事業名	事業概要	実施主体	計画書掲載頁	スケジュール					2018年度実施予定	これまでの取り組み	
					2018年	2019年	2020年	2021年	2022年			
目標1 住み続けられる街に～定住を支える公共交通	(1)高校生が自宅から高校へ通える街に	1-1 高校生のバス通学を支援します	市街地まで距離のある地域から高校へ通う学生を支援する「高等学校等バス通学費補助金」制度を継続し、自宅から学校へ通える手段を確保し、利用者の確保につなげます。	中津川市	10	継続実施					<ul style="list-style-type: none"> <li>通学定期券購入額から月額1万円を差し引いた額の1/2を補助。</li> <li>加子母、付知地区で説明会を実施。広報紙やホームページで制度を周知。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2017年度は176件の申請に対し計13,026千円を補助。申請者の満足度は94%。</li> </ul>
		1-2 高校生のバス通学者を増やします	バス路線や時刻表、定期券などの情報を提供し、バスでも高校へ通学ができることを周知するためのチラシの配布、学校の保護者会などでバス利用をすすめます。	中津川市	11	新規実施					<ul style="list-style-type: none"> <li>高校通学でバス利用をすすめるためのチラシ内容を検討し作成。</li> <li>重点地区である福岡、苗木地区でチラシを配布し利用を呼び掛ける。</li> </ul>	
		1-3 市民病院行きバスの乗り継ぎを円滑にします	乗り継ぎ時間を極力短縮して円滑に移動ができるように調整します。バスの運用上可能であれば、乗降することなく同じバスで中津川市民病院へ向かうことができるように調整します。	交通事業者、中津川市、公共交通会議	12	随時実施					<ul style="list-style-type: none"> <li>時刻を改正する際には、乗り継ぎ時間が短縮できるように調整。</li> </ul>	
	(2)公共交通で病院へ通える街に	1-4 公共交通の運行を継続します	交通事業者は、安全・安心・快適な交通サービスを提供し、地域の足となる公共交通を継続して運行します。市は、路線バスやタクシーでは対応できない地域内移動をカバーするために、交通事業者や地域住民組織と連携してコミュニティバスを運行します。	交通事業者、地域住民組織、中津川市、公共交通会議	13	継続実施					<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事業者は、地域の足となる公共交通の運行を継続。</li> <li>市は、既存の公共交通機関では対応しきれない地域内交通を確保するために、市内9地区でコミュニティバスの運行を継続。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北恵那交通(株)でUSB電源付き車両を新規導入し、利便性の向上を図る。(2018年4月)</li> </ul>
		1-5 路線バスとコミュニティバスの乗り継ぎ割引を行います	路線バスとコミュニティバス相互の乗り継ぎを進めるため、路線バスとコミュニティバスを乗り継いで利用した場合には、コミュニティバス運賃相当分の割引を検討します。	中津川市、交通事業者	14	検討協議	新規実施				<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の事業実施に向けた検討。</li> </ul>	
		1-6 免許返納者へのタクシー割引制度を継続します	タクシー事業者では、運転免許証を自ら返納し、運転経歴証明書の交付を受けた高齢者への運賃割引制度を設けています。今後もこの制度を継続し、運転免許証を返納した高齢者が気軽にタクシーを利用できる環境をつくります。	交通事業者	14	継続実施					<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者への運賃割引制度を継続。</li> </ul>	
		1-7 タクシーを活用したおでかけを推進します	タクシーが利用できる地域において、タクシーを活用したおでかけを推進します。制度を開始する前に実証実験を行います。実証実験を通して制度の有効性を検証し、本格実施を開始するか否かの判断を行います。	中津川市、交通事業者	15	事例研究、実証実験、実験結果に応じて実施または取りやめ					<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の事業実施に向けた先進地の事例を研究。</li> </ul>	
		1-8 明知鉄道の運行を支援します	阿木地区の重要な交通手段である明知鉄道の安全運行に必要な運営費や維持修繕費などへの補助を行い、恵那市と連携して運営を支援します。	中津川市、交通事業者	16	継続実施					<ul style="list-style-type: none"> <li>恵那市と連携し、利用促進など活動面の支援と、国や県の補助事業を活用した運営面の支援。(今年度5,462千円予定)</li> <li>阿木地区コミュニティバスは、明知鉄道との接続時間を考慮した運行時刻を設定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明知鉄道の時刻改正に合わせたコミュニティバスの時刻改正を実施。(2018年3月)</li> </ul>
	(3)公共交通でお出かけできる街に	1-9 パーク＆ライドで公共交通の利用を推進します	自宅から最寄りのバス停までは自家用車を利用し、バス停付近の駐車場へ気軽に駐車し幹線道路はバスに乗り換えて出かけるように、「パーク＆ライド駐車場」の利用を推進します。	交通事業者、中津川市	17	検討協議	新規実施				<ul style="list-style-type: none"> <li>北恵那バス下付知・高山バス停でパーク＆ライド駐車場を整備。</li> <li>対象地区にチラシを配布し利用を呼び掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下付知バス停で事業を開始。付知地区でチラシ配布と報道発表を実施。(2018年6月)</li> </ul>
		1-10 タクシー車両のバリアフリー化を推進します	高齢者や子育て中の方、障がいのある方など、誰もが気軽に公共交通を利用できるように、交通事業者が今後車両を更新する際には、UD(ユニバーサルデザイン)タクシーを導入し、バリアフリー化を進めます。	交通事業者	17	随時実施					<ul style="list-style-type: none"> <li>今後車両を更新する際には、UDタクシーを導入し、バリアフリー化を進める。</li> </ul>	

目標	事業名	事業概要	実施主体	計画書掲載頁	スケジュール					2018年度実施予定	これまでの取り組み		
					2018年	2019年	2020年	2021年	2022年				
目標2 来てよかった、 また来たい街に ～観光と利用促進	(1)観光の取り組み	2-1 公共交通を使った市内観光を推進します	市内観光施設へのアクセス手段の一つとして公共交通の利用ができることをPRするためにチラシやパンフレット、ホームページなどでの情報提供を充実します。公共交通を利用して市内の名所を巡ることができるモデルコースを設定し、公共交通の利用増につなげます。	交通事業者、協力団体、中津川市、公共交通会議	18	検討 協議	新規実施					<ul style="list-style-type: none"> <li>北恵那バス苗木城線開設に合わせたPRとモデルコースの検討。</li> <li>公共交通を利用した「観光モデルコース」の提案に向けた検討。</li> </ul>	
		2-2 路線バスの企画切符を発行します	事業者が利用促進のために企画切符を発行する場合には、PRするためのチラシの配布や、ポスターの掲示などの活動を支援し、路線バスの利用促進につなげます。	交通事業者、協力団体、中津川市、公共交通会議	18	継続実施					<ul style="list-style-type: none"> <li>北恵那交通㈱で「おんぼいの湯バスセット券」と「がくせいホリデーきっぷ」の販売を継続。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中津川市立図書館で企画切符の利用促進。(2018年4月)</li> <li>「おんぼいの湯バスセット券」の利用可能区間が樋の口バス停(福岡)まで拡大。(2018年4月)</li> </ul>	
		2-3 ラッピングバスやデコレーションバスを運行します	公共交通を利用するきっかけ作りや、バス利用者がバス車内で楽しいひとときを過ごせるよう季節のイベントに合わせて車内装飾を施したバスを運行します。	交通事業者、中津川市	19	継続実施					<ul style="list-style-type: none"> <li>地歌舞伎ラッピングを行ったバス車両を運行。(北恵那バス1台、コミュニティバス3台)</li> <li>クリスマスに車内装飾を施したバスを運行。(12月予定)</li> </ul>		
	(2)利用促進の取り組み	2-4 のりものふれあい広場を開催します	バスやタクシーなどの公共交通や、消防車両などの乗り物に親しんでもらいながら、公共交通の必要性や役割を考えるきっかけづくりの場を作り利用促進を図ります。	中津川市、交通事業者、協力団体、公共交通会議	20	継続実施	見直し				<ul style="list-style-type: none"> <li>健康福祉まつりで開催。</li> <li>実施日：2018年10月14日(日)</li> <li>開催場所：東美濃ふれあいセンター前広場</li> </ul>		
		2-5 バスの乗り方教室を開催します	「バスの乗り方教室」では、実際のバスを使用してバスの乗り方や運賃の支払い方法などの体験や、交通ルールの順守や大型車両の走行特性(車内から見た死角、内輪差など)に関する知識を学びます。	中津川市、協力団体、地域住民組織、交通事業者、公共交通会議	20	検討・協議	新規実施				<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の事業実施に向けた検討。</li> </ul>		
		2-6 公共交通を使ったおでかけ情報を発信します	商業施設や医療機関などと連携し、公共交通を利用した来店や通院方法の周知を行うことで公共交通の利用促進に取り組みます。	中津川市、協力団体、地域住民組織、交通事業者、公共交通会議	21	検討 協議	新規実施				<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通を利用した「おでかけ」の提案の実施に向けた検討。</li> </ul>		
		2-7 経路検索の充実に向けたデータ整備を行います	市内の路線バスやコミュニティバスでも、「標準的なバス情報フォーマット」に基づいたデータ作成を進めます。データは経路検索事業者などに提供し、公共交通情報のインターネットによる経路検索を可能とします。	交通事業者、中津川市、公共交通会議	22	新規実施					<ul style="list-style-type: none"> <li>「標準的なバス情報フォーマット」に基づくGTFSデータ(バス停位置、ルート、時刻、運賃など)を整備し、インターネットによる経路検索を可能にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GTFSデータを利用したデジタルサイネージ(電子看板)実証実験を坂下病院で実施(2018年5月)</li> </ul>	
		2-8 にぎわいプラザバス待合所を改善します	快適なバス待合所の環境を作り、鉄道やバス利用者に情報提供ができる設備を備え、円滑な乗り継ぎやバス利用の利便性を高めるための具体的な改善内容を検討し、可能なものから順次実施していきます。	中津川市、交通事業者	23	検討・協議	随時実施				<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の事業実施に向けた検討。</li> </ul>		
目標3 運転手不足解消に向けて～誰もが活躍する街に	3-1 運転手の採用に向けて取り組みます	求職者と、求人事業者との出会いの場である就職説明会などに積極的に参加し、運転手の採用拡大に努めます。	交通事業者、中津川市、公共交通会議	24	継続実施					<ul style="list-style-type: none"> <li>業界全体として課題解決に取り組むため、交通事業者が合同で開催する相談会などを検討。</li> </ul>			
	3-2 女性限定の運転手体験会を開催します	「車の運転が好き」、「大型の車を運転してみたい」、「人と接することが好き」という女性が気軽に参加でき、運転手という職業を身近に感じ、その仕事への理解を深めていただくために、女性に限定した職場体験会を開催し、女性運転手の採用拡大につなげます。	交通事業者、中津川市、公共交通会議	25	検討・協議	新規実施				<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の事業実施に向けた検討。</li> </ul>			